

ハウジング・ファースト リカバリー なぜ 住まうことから始める と 回復 するのか ～世界と日本の現場から～

〇〇ができるようになったら次のステップへ。そして〇〇ができるようになったら次へ進みさらに
〇〇と〇〇と…(つづく)ができるようになって…

ついに自分の部屋での生活が実現することが「ゆるされる」。

世界の医療団、コミュニティーホームベてぶくろ、TENOHASI、訪問看護ステーション KAZOC によるホームレス支援プロジェクト「東京プロジェクト」にも取り入れられている「ハウジング・ファースト」は、そのような従来の支援スタイルを一掃します。誰かが決めたルールの上を歩ませるのではなく、まずは地域の住みたい場所に自分の部屋を得ること。そこで自分のペースとスタイルで、地域の一人として暮らしていくこと。支援者はそれを応援していくこと。ゴールだと思われていた住まいをスタートとすることで、実は本人の回復（リカバリー）が圧倒的に実現されるというのです。

本シンポジウムでは、「ハウジング・ファースト」という言葉だけでは語りつくせないたくさんの魅力と要素、そして「あたたかみ」が詰まったこの支援モデルについて、アメリカとフランスから実践者本人よりご紹介いただきます。リアルな言葉と思いをお届けするとともに、日本での先進的な実践報告も交えつつ日本での実現可能性をみなさんと探っていきたいと思います。

記

日時： 2015年11月15日(日) 13:00-16:00 (開場 12:30)
会場： JICA 地球ひろば(東京都新宿区市谷本村町 10-5)
会費： 2,000 円
定員： 100 名 (定員に達し次第締切らせていただきます)

プログラム：*英日同時通訳付き

第1部 ハウジング・ファースト 世界の現場から

講演1: Amanda Harris 氏 アメリカ Pathways to Housing DC 最高業務執行責任者
講演2: Vincent Girard 氏 フランスのハウジング・ファースト・モデル実践者、精神科医

第2部 ハウジング・ファースト 日本の現場から

講演1: 鶴田 啓洋 氏 一般社団法人 Saa・Ya 代表理事・管理者、精神保健福祉士
講演2: 伊藤 順一郎 氏 メンタルヘルス診療所しっぽふあーれ院長
認定 NPO 法人地域精神保健福祉機構共同代表理事

第3部 パネル・ディスカッション

ファシリテーター： 向谷地 宣明 氏 コミュニティーホームベてぶくろ、ひだくりニック

*なお、プログラムの内容については変更が生じる場合がございますので、予めご了承ください。

主催：世界の医療団 (特定非営利活動法人 メドゥサン・デュ・モンド ジャパン)
共催：コミュニティーホームベてぶくろ、NPO 法人 TENOHASI、訪問看護ステーション KAZOC
協賛：ヤンセンファーマ株式会社
笹川日仏財団
協力：ARCH (Advocacy and Research Centre for Homelessness)
東京工業大学大学院社会理工研究科 土肥研究室
後援：認定 NPO 法人 地域精神保健福祉機構・コンボ

お申し込み

[こちら](https://ssl.form-mailer.jp/fms/4fe84f53392446) (https://ssl.form-mailer.jp/fms/4fe84f53392446) より、ご登録ください。

お問い合わせ先

世界の医療団 特定非営利活動法人 メドゥサン・デュ・モンド ジャパン(認定 NPO 法人)
TEL: 03-3585-6436
Email: communications@mdm.or.jp



講師略歴



Amanda Harris 氏
(アマダ・ハリス)
Pathways to Housing DC
最高業務執行責任者

2007 年より Pathways to Housing DC にて、ワシントン DC コロンビア特別区でホームレス状態からの脱却を支援する活動に従事。前職はホームレスを経験した人たち向けに、永住可能な住宅支援と生活のサポートを提供する団体に勤務。またできるだけ多くのホームレスの人々に住まいが提供されるよう全国区、地域レベルでの政策提言活動に取り組む。Pathway to Housing DC では役員として組織の一翼を担い、日々の活動では現場と社会の橋渡し役を務める。

ミシガン大学社会福祉学修士号取得
ジョージ・ワシントン大学
社会政策学修士、哲学修士号取得



Vincent Girard 氏
(ヴァンサン・ジェラルド)
精神科医
マルセイユ医科大学に
精神科医として勤務

仏マルセイユにて修学、米イェール大学研究員などを経て、フランスに帰国、精神障がいを抱えるホームレスのためのハウジング・ファースト・プログラムを世界の医療団マルセイユで実施。その後、マルセイユ医科大学で精神科助教授を経て、現在に至る。

2011 年よりフランス発の公的なハウジング・ファースト・プログラム「アン・シェ・ソワ・ダボー」のコーディネーターとして活躍。現在まで、80 万ユーロの資金調達。国内外から多くの講演に招聘されるなど、国際的な活動にも取り組んでいる。

Medecine School of Marseille 公衆衛生博士号取得

いとう じゅんいちろう
伊藤 順一郎 氏



国立精神・神経医療研究センター
精神保健研究所社会復帰研究部部長
メンタルヘルス診療所しほふあーれ院長
認定 NPO 法人地域精神保健福祉機構
共同代表理事
日本精神障害者リハビリテーション学会
学会会長
日本統合失調症学会 評議員
ACT 全国ネットワーク 代表幹事
心理教育・家族教室ネットワーク運営委員

専門は精神医学、精神科リハビリテーション学、家族心理教育、家族療法、ひきこもり支援、包括型生活支援プログラム (ACT)、個別就労支援 (IPS) など、地域生活中心の精神保健医療福祉のシステム作りに寄与するプログラム作りに仕事の時間の多くを割いている。

「精神科病院を出て、町へ ACT がつくる地域精神医療 (岩波書店)」ほか著書多数。

つるだ あきひろ
鶴田 啓洋 氏



精神保健福祉士、社会福祉士
一般社団法人 Saa・Ya 代表理事
特定非営利活動法人やどかりサポート
鹿児島理事
一般社団法人鹿児島県精神保健福祉士協会理事
鹿児島県障害者自立支援協議会委員
鹿児島国際大学非常勤講師
九州医療専門学校非常勤講師

医療ソーシャルワーカー、精神科ソーシャルワーカーとして勤務後、2006 年より連帯保証人や地域での継続支援を行うための NPO 法人 (やどかりサポート鹿児島) の設立に関わり、2007 年同 NPO 法人の理事に就任。精神科病院長期入院者や路上生活者等の居住支援、生活支援に取り組む。2014 年、一般社団法人 Saa・Ya を設立し障害福祉サービス事業である就労支援事業、自立訓練事業などを実施している。

主催

共催

協賛

後援

協力



世界の医療団



訪問看護ステーション
KAZOC

